

SSKR 第347号

街から街へ

編集 NPO法人世田谷ミニキャブ区民の会  
理事長 荻野陽一  
事務局 東京都世田谷区八幡山1-7-6  
TEL 03-3329-8353(予約専用)  
03-3329-0855(会へのお問合せ)  
FAX 03-3329-8475  
URL <http://setagayanc.main.jp/>  
Eメール cab@d3.dion.ne.jp  
発行 障害者定期刊行物協会  
東京都世田谷区祖師谷3-1-17  
TEL 03-6277-9611  
定価 100円

### 秋の研修旅行、中止のお知らせ

7月15日付けで世田谷区障害施策推進課より「新型コロナウイルス感染症の影響下における世田谷区障害者(児)福祉団体等バス派遣事業の取り扱いについて」という文書が届きました。内容は観光バス内での集団感染の完全回避は困難なことや、他県への移動自粛の観点から今年度は当事業の実施は控える、次年度以降は、税収の大きな落ち込みが予想され当事業の休止を含めて検討するというものでした。

当会はこの事業を利用して、毎年バスによる研修旅行を実施してきました。しかし、新型コロナ禍の状況を見た時、研修旅行をどうするか検討してきましたが、この度、先述の通りバス派遣事業を控える方向になったため、10月に予定しておりました研修旅行の中止を決断致しました。楽しみにしておられた方には申し訳ありません。なお、次年度以降は世田谷区の動向を見ながら、研修旅行のあり方を検討していきます。

### せたがやノーマライゼーションプラン策定に向けたシンポジウムのご案内

世田谷区では2021年度から3年間の障害施策に関する計画を策定中です。その基本理念は、障害のある人もない人もお互いの人格や個性を尊重して、住み慣れた地域で支え合い自分らしい生活を安心して継続できる社会の実現です。それに関連したシンポジウムが世田谷区主催で開催されます。興味のある方はご参加下さい。

日時：9月29日(火) 18時30分~20時30分(18時開場)

会場：成城ホール(成城学園前駅下車徒歩4分) ※お申込み先

内容：①向こう3年間の障害計画素案の概要説明 せたがやコール5432-3333

②障害者の居場所づくりをテーマにしたシンポジウム 内容詳細は障害施策推進課へ。

## コロナ禍の当会の現状についての報告

新型コロナウイルスの感染は依然収束せず、社会生活に大きな影響を与え続けていますね。その中で当会の現状はどうなっているのか、かいつまんでではありますが、報告致します。

まず、運行事業です。緊急事態宣言が出されて以降、不要不急の外出を控えることが促された影響で、第1四半期(4月~6月)の車両利用は90件にとどまる一方、キャンセルが77件ありました。これは会史上類を見ない数字で、会の収入が大幅に落ち込みました。収入減に対応するため経費節減を含め、なお一層の経営努力が強く求められています。

運行実績低下は、来年度の世田谷区からの補助金減額に繋がり、会の運営が厳しくなります。そこで、7月10日に小生と浅岡事務局長で、補助金交付の窓口である区役所障害者地域生活課に会の実情を伝えるため訪問してきました。当日は課長、係長、担当者に臨席いただき、コロナ禍での当会の実情をお伝えすると共に、来年度の補助金のあり様について、例年とは異なる交付基準の創設など特段の配慮をお願いしたいと申し入れてきました。結果はどうか分かりませんが、今後も必要な働きかけを続けていきます。

次に八幡山地域支え合い・介護予防事業です。4月~6月は当施設内リビングの貸出利用を全面的に中止しました。7月からは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点を重視し、利用人数を制限してリビングの貸出利用を再開しています。昨年度からスタートした“はちまんやま寺子屋”は、人が集まることを避けることを促されている中では、学びの場を企画しにくく特に高齢者をメイン参加者としているため今年度は開催出来ていません。新型コロナウイルス感染状況を見ながら、今後の取り組みを考えます。

このように新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動しにくい状況がありますが、事務局スタッフや運転協力者のみなさまの尽力のおかげをもちまして、事業を滞らせることなく今日までくることが出来ていることに、この場をお借りしてお礼申し上げます。今後も会員のみなさまの期待に応えられるよう頑張りますので、応援よろしくお願い致します。

文責 当会理事長 荻野陽一

## <リレーエッセイ>

### スマイリー M サイトウの笑顔満点 お散歩便 ~その10~

梅雨明けが8月とは季節感がだんだん薄れてきますね。梅雨が明けたら凄い猛暑でした。呼吸するのも息苦しいくらいでした。ましてや新型コロナウイルスの対策でマスクをすると、余計に息苦しさを感じたのは私だけでしょうか?新型コロナウイルス対策のマスクが熱中症になる確率を上げてしまうとは皮肉なものです。熱中症や夏風邪にも気をつけてください。

さて、新型コロナウイルスですが、8月6日から4日間連続で感染者数が300人超えをしている状況です。8月9日現在の東京都の発生状況は、現在感染者数3,756人、新規感染者数331人、累計感染者数15,867人、死亡者数333人でした(JX通信社調べ)。残念ながら、だんだん感染者が増え続けている状況です。お盆休みも帰省や旅行・宴会等、我慢しなければいけないはずなのですが、意識する人としらない人の差が大きく分かれた時期でもありました。良識のない行動によって、観光地である沖縄では感染者が増加し続け、病院の受け入れ待ちの人やPCR検査が受けられない人もたくさん出ました。人口10万人あたりの新規感染者は東京都を上回ってしまいました。非常事態です。私たち1人1人の行動が、いかに大切か思い知らされたのではないのでしょうか。「私は大丈夫」「私だけは大丈夫」は、他人の生命を奪ってしまうことになります。

ストレスはみんな溜まっています。ですが...この時期に安易に旅行に出かけるのは頷けません。新しい情報をしっかり入手しながら、新型コロナウイルスにかからないように闘うしかありません。陰性や陽性に関わらず他人との距離(3密)や対策をしっかりとって、ステイホームして過ごすことが大切です。

私も決まった月に病院に検査をしに行っていますが、世の中の状況を見て通院を見合わせています。今こそ1人1人ができることをやって行かなければなりません。自分や家族を守るためにも、今は苦しいかも知れませんが、新型コロナウイルスが早く終息するためにも、みんなでこの不安な毎日を乗り越えて参りましょう。終息したら思う存分エンジョイしてください。ほどほどにね(笑)。当たり前のことですが、うがい・手洗い・マスク着用・消毒・3密を心掛け、不要不急の外出は控えましょうね。

みなさまが健康でストレスがなく生活できることを願っております。コロナに負けるな!明るく元気に過ごしましょう!!

#### <追記>

安倍首総が8月28日に辞任表明をしました。最後はオリンピックではなく「アベノマスク」という厳しい批判の中で、一つの歴史が幕を閉じました。

■7月、8月は下記の  
方々からご寄付をい  
ただきました。厚く  
御礼申し上げます。

河西恵津子 様  
斎藤 純 様  
中村 剛健 様  
土方 水緒 様

■当会へのお振込み先

<加入者名>

特定非営利活動法人

世田谷ミニキャブ区民の会

<口座番号>

00190-5-11574

「まち・まち ぶんげい」では、読者のみなさまからの  
投稿も募集しています。俳句にこだわらず、短歌、川柳、  
詩など貴方の会心の作品をお寄せ下さい。毎月二五日ま  
でに事務局にファックスかメールでお送りいただくと、  
翌月発行の本紙に掲載させていただきます。

(編集担当)

まち・まち ぶんげい  
葛餅の黄な粉にむせて老いを知る  
短夜の怖くて長い夢の朝  
助手駅に足をもたげて三尺寝  
サクラノボ等分に分け仲直り  
ポケットに消毒ボトルつゆ寒し  
けん

### <送迎車両への連絡について>

待機中の車両を呼び出したい時や、急な予定変更で運転者と連絡をとりたい場合は、下記の車  
両ごとの番号におかけ下さい。運転中でとれない場合がありますので、番号を通知しておかけい  
ただければ、後ほどおかけ直し致します。

スズキエブリ=090-6482-3840

日産キャラバン=090-6549-5425

トヨタシエンタ=080-3154-7356

トヨタハイエース=090-1849-2433

日産セレナ=080-6482-4097

### <事務局業務時間外の連絡について>

当会事務局の業務時間は平日 10 時～17 時です。時間外や祝祭日にどうしても連絡をとりた  
い場合は、03-3329-0855 にかけていただくと、担当者に転送されます。

### <運転ボランティア急募!!>

当会では、障害者や高齢者のお出かけを運転で支えてくれるドライバーが不足しています。利  
用者のニーズにお応えしていくために、新しい方を求めています。あなたの運転が利用者の笑顔  
をつくります。運転免許証をお持ちの75歳以下の方、男女不問、経験不問です。まずは、事務  
所までご連絡ください。よろしくお願いたします。

電話03-3329-0855 世田谷ミニキャブ区民の会事務局(10時～17時)

### 【編集後記】

例年とは異なる夏、お盆の帰省もままならず、寂しい思いをされた方も多いと思います。小生  
も隣接県に親のお墓があり、当会に送迎をお願いしていたのですが、都内ナンバーが止まってい  
ることで、トラブルに巻き込まれるのはご免だと思い墓参を取り止めました。余計な気遣いなく  
出かけられる有難みを痛感した夏でした。

(編集子)